

(様式1)

環境配慮検討書

平成19年 2月23日

三重県環境調整システム推進会議 部会長 様

伊勢農林水産商工環境事務所水産室長

三重県環境調整システム推進要綱第4条の規定に基づき提出します。

対象事業の名称	海岸保全施設整備事業 阿曾浦地区	
連絡先	担当室又は課所名	伊勢農林水産商工環境事務所 水産室

1 事業の計画の名称、目的及び内容

(1)名称	海岸保全施設整備事業 阿曾浦地区	
(2)目的	既設堤防は、老朽化が著しく至る所にクラックが発生している。また、護岸においては、一部崩壊している。現状のままでは、波浪等により崩壊し、堤防背後の集落に多大なる被害を及ぼすことが予想されるため、堤防及び護岸の強度を確保することを目的として、堤防及び護岸の改修を行う。	
(3)事業主体	三重県伊勢農林水産商工環境事務所	
(4)計画内容	計画地の位置 位置図を添付すること	度会郡南伊勢町阿曾浦
	建物・施設等の概要 (用途、規模、面積、配置等) 配置図を添付すること	堤防改修工 L = 262m 護岸改修工 L = 85m
	用水の使用計画	-
	エネルギーの使用計画	-
	雨水、汚水の排水計画	雨水： - 汚水： -
	道路・交通計画	-
	工期	ア)着工の予定時期 イ)完工及び供用開始の予定時期
(5)関連事業計画	なし	
(6)その他	特になし	

2 計画地の社会的条件の現況等

(1)計画地の社会的条件の現況	交通の現況	<p>a 計画地周辺の主要道路網 県道阿曾浦港線、国道260号線</p> <p>b 主要道路の交通状況 県道阿曾浦港線：39台/日 国道260号線：3,868台/日（南伊勢町東宮付近）</p>
	土地利用の現況	事業予定地は、県営阿曾浦漁港区域内であり、集落が密集している
	水域利用の現況	事業予定地付近の水域では、真珠・魚類養殖が営まれている
	生活関連施設の現況	<p>a 公共施設の立地状況：南伊勢町役場中島出張所、いそ波園（保育園）がある。</p> <p>b その他の立地状況：くまの灘漁業協同組合阿曾浦支部、JA伊勢鶴倉支店阿曾浦</p>
(2)関係法令等による地域の指定・規制状況	自然環境保全地域等の指定状況	<p>自然環境保全地域（地区）：指定されていない。</p> <p>自然公園地域（区域）：伊勢志摩国立公園（普通地域）に指定されている。</p> <p>鳥獣保護区域：指定されていない。</p>
	土地利用規制の現況	<p>都市計画法、農業地域振興法、森林法等の規制状況</p> <p>都市計画法：指定されていない。</p> <p>農業地域振興法：農業地域振興地区に指定されていない。</p>

3 計画地の自然的条件の現況

(1)地形 ・地質	文献調査	文献名	県営阿曾浦地区養殖場造成事業地質調査委託 (平成7年11月)		
	現地調査の有無	有 <input checked="" type="radio"/> ・ 無 <input type="radio"/> (実施日時 H7.11)		聴取調査の有無	有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/>
	調査結果等	<p>地形：志摩半島特有の海に突き出た山地部と、入り組んだ内湾とが鋸歯状の海岸線を形成するリアス式海岸地形である。</p> <p>地質：中央構造線の外帯に広く分布する四万十層群を基盤岩とする地域である。</p> <p>地層：上位より沖積礫質土層が厚く分布し、玉石混じり砂礫、砂礫、シルト混じり砂礫によって構成されている</p>			
(2)水象	文献調査	文献名	阿曾浦漁港台帳		
	現地調査の有無	有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> (実施日時)		聴取調査の有無	有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/>
	調査結果等 河川、湖沼	該当なし			
	海域	H.W.L DL +1.859 L.W.L DL +0.029			
(3)気象・ 大気質等	調査の方法	気象庁2005年データ			
	調査結果	気温：年平均15.6 (最高34.8、最低-3.2) 降水量：1,372ミリ 最多風向：北北西 風速：1.2m/s (最大7.0m/s) (気象庁南伊勢観測所2005年データより) 大気質：事業による大気質への影響なし 水質：事業による水質への影響なし 騒音：- 振動：-			
(4)生態系 等	文献調査	文献名	自然環境保全基礎調査(環境省) 三重県レッドデータブック2005		
	現地調査の有無	有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> (実施日時)		聴取調査の有無	有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/>
	調査結果等 植物	植生の概要：シイ・カシ萌芽林の植林地が分布している。 貴重な植物個体：該当なし 貴重な植物群落：該当なし			
	動物	動物相の概要：哺乳類2種類、鳥類2種類、爬虫類1種類、昆虫類6種類、甲殻類2種類、貝類2種類が確認されている。 貴重な動物：甲殻類 オサガニ			

(5)自然景観・文化財等	文献調査	文献名	県指定文化財一覧（三重県HP） 三重県埋蔵文化財センターHP		
	現地調査の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 （実施日時 ）		聴取調査の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
	調査結果等 自然景観	<p>自然景観の概要：対象地域は伊勢志摩国立公園に指定されており、海岸線沿いでは、リアス式海岸となっている。</p> <p>貴重な自然景観：特になし</p>			
	文化財、史跡、名勝等	<p>史跡・名勝・天然記念物：県指定文化財として片山寺の雲板がある</p> <p>埋蔵文化財包蔵地：近辺に遺跡はない</p>			
	野外レクリエーション 他	特になし			
(8)その他、自然災害等	伊勢湾台風（昭和34年）では、この堤防（天端高DL+13.0）を越える波が襲来し、背後集落に多大な被害を受けた。				

4 - 2 事業計画の検討内容（複数案比較が実施できない場合）

複数案比較が実施できない理由	本事業は、既設堤防の改修であり、用地が限られていることから、比較検討は出来ない。
----------------	--

環境配慮事項ごとに、環境配慮度を - で記入し、その配慮の内容及び配慮度の評価の理由を記入すること。

環境配慮技術指針の配慮目標 循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築 人と自然が共存する環境の保全 やすらぎと潤いのある快適な環境の創造	環境配慮度 : 十分配慮している。 : 配慮している。 - : 特に配慮する必要がない。
---	---

技術指針に基づく環境配慮事項	環境配慮度	環境配慮の内容 (- の場合は、無記入でも可)	配慮度の評価の理由
-1 地球温暖化防止		施工機械（重機）には、排ガス規制されたものを使用する。	直接的ではないが、地球温暖化防止に寄与する。
-2 廃棄物対策		工事で発生するコンクリート殻は、産業廃棄物処理施設へ運搬する。	産業廃棄物処理施設へ搬入することにより、廃棄物の再利用を図る。
-3 生活環境の保全		工事計画においては、低騒音・低振動の工法・重機を使用する。	生活環境の保全に配慮する。
-4 その他重点事項		特になし	特になし
-1 野生生物等の生育空間の確保		地山への取付による改変は、最小限に抑える。	自然環境保全に配慮する。
-2 希少な野生生物の保護		発見された場合には、関係機関と協議する	自然環境保全に配慮する
-3 地形、地質等の改変の抑止		既設の仮設ヤードを利用するなど、地形の改変の抑止に努める。	工事完了後は、防波堤海側については、砂利浜を復元することとしている
-4 その他重点事項		特になし	特になし
-1 緑化、周辺景観との調和		特になし	特になし
-2 親水等、ふれあい空間づくり		特になし	特になし
-3 その他重点事項		特になし	特になし
上記以外の特記事項		特になし	特になし

5 - 2 事業計画案の環境配慮に係る評価

従来の事業等と比較して優れている点	従来の事業では、自然環境保全に対する位置付けが低いものとなっていたが、本事業においては自然環境についても十分に配慮し施行する。
今後の課題	事業計画の着手から、自然環境の配慮を念頭に、高潮・津波に対し安全性を確保したうえで、適正な整備を行う。
会議での調整を要する事柄	特になし